

平成 27 年 12 月 9 日

## ポーランドのクラコフ工科大学への出張の報告

岐阜大学 工学部長 六郷恵哲

### 1. 調印式出席者

岐阜大学 工学部長 六郷恵哲

流域圏科学研究センター センター長 景山幸二

工学研究科 教授 小林智尚

クラコフ工科大学 教育国際担当副学長 D.B. Bogdal

環境工学部 学部長 E. Nachlik

環境工学部 准教授 M. Zielina, 他



### 2. 交流協定と調印式等

11 月 30 日にクラコフ工科大学において、クラコフ工科大学の環境工学部（工学科）と岐阜大学の水環境分野（流域圏科学研究センター，工学部）との間で、学生ならびに教職員の交流と共同研究等を一層活発にすることを目的として交流協定が結ばれた。岐阜大学の李富生教授らのグループとクラコフ工科大学の M. Zielina 准教授らのグループのこれまでの親密な交流が基礎となっている。

協定書の調印式では、相互の大学について、英語ビデオも用いて紹介したあと、交流を一層活発にするための意見交換を行った。

調印式の後、環境工学，土木工学，機械工学，化学工学などの実験室等を見学した。ゴシック調建築の外観を活かした建物の改修工事が進められており，例えば化学系の改修後の実験室では，ドラフトをはじめとする実験設備がよく整備されていた。水理学の基礎を学生に理解させるための学生実験用の様々な装置（ドイツ製）は，分かりやすく，特に印象に残った。

### 3. クラコフ工科大学とクラコフ市

クラコフ工科大学は，1946 年に設立された国立の大学であり，ポーランド国内で最も有名である。建築学，土木工学，環境工学，電気工学，化学工学，機械工学，物理数学の 7 つの学部で構成されている。大学の建物は，クラコフ市内に分散している。

クラコフ市は，ポーランドの古都であり，第二次大戦中にさほど被害をうけなかったことから，歴史的建造物が多く残されており，美しい街であった。市内の広場の地下は，発掘され，中世の遺構を活かした歴史博物館となっていた。

### 4. 日程

平成 27 年 11 月 28 日 午前中部空港を出国，  
深夜にクラコフ空港入国

11 月 29 日 休日

11 月 30 日 調印式，大学施設の見学

12 月 1 日 早朝にクラコフ空港出国

12 月 2 日 早朝に羽田空国に帰国

